



2025 年度（令和 7 年度）
一般財団法人 東京都スキー連盟加盟団体長会議



日時 2025 年 7 月 5 日（土）
場所 なかの ZERO 小ホール



2025 年度加盟団体長会議

- 1 日 時 2025 年 7 月 5 日 (土) 12 時 30 分～13 時 49 分
- 2 場 所 なかの ZERO 小ホール
- 3 出席者 加盟団体現在数 405 団体
出席加盟団体数 91 団体
- 出席理事 岡田 利修、本橋 領、竹林 美和子、金子 奈々、栗飯原 勉、
高柳 寛樹、春見 靖夫
- 出席監事 生越 啓史

4 議 事

午後 0 時 30 分 開会

1. 開会宣言

○竹林総務本部長 では、ちょうど定刻になりましたので、2025 年度（令和 7 年度）の加盟団体長会議を開かせていただきます。

2. 副会長挨拶

○竹林総務本部長 本日は会長の達下が体調不良のため、副会長の岡田より御挨拶申し上げます。

○岡田副会長 皆様、本日は、暑い中、忙しい中、本会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

今、総務本部長のほうからも冒頭にありましたが、達下会長が体調不良ということで本日欠席されております。代わって、私、副会長を務めさせていただきます岡田のほうから一言挨拶をさせていただきます。

昨シーズンはウインターシーズンとしては非常に雪に恵まれたシーズンでして、皆さんの活動ですとか当連盟の各事業についてもスムーズに行うことができたのではないかなと思っています。ただ、一方で、やはり普及といった部分で、スキーヤーがあまり増えてないですとか、会員がどうしても増えない、参

加者についてもなかなか伸びないといった状況の中で、ぜひ、この加盟団体長会議の中で皆様方の御意見等を頂きながら、来るシーズンに向けて良い準備ができればいいかなと思っていますので、今日は短い時間ですけれども、忌憚のない御意見等を頂ければと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

3. 出席役員の紹介

○竹林総務本部長 それでは、出席役員の紹介を本橋専務よりお願いいたします。

○本橋専務理事 皆さん、こんにちは。本日は、お暑い中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。専務理事を拝命しております本橋と申します。よろしくお願いいたします。

本日の出席役員について、皆様に御紹介をさせていただきます。

まずは、今挨拶がありました岡田副会長。

○岡田副会長 よろしくお願いします。

○本橋専務理事 続きまして、総務本部長の竹林です。

○竹林総務本部長 よろしくお願いいたします。

○本橋専務理事 総務理事の栗飯原です。

○栗飯原理事 よろしくお願いします。

○本橋専務理事 総務理事の高柳です。

○高柳理事 よろしくお願いいたします。

○本橋専務理事 教育本部長の金子です。

○金子教育本部長 金子です。よろしくお願いいたします。

○本橋専務理事 競技本部の春見です。

○春見理事 春見です。よろしくお願いいたします。

○本橋専務理事 最後に、監事の生越です。

○生越監事 生越です。よろしくお願いいたします。

○本橋専務理事 本日はこのメンバーで皆さんと会議をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

4. 第 78 回クラブ対抗競技会の団体表彰

○竹林総務本部長 第 78 回クラブ対抗競技会の団体表彰式に移らせていただきます。

○春見理事 クラブ対抗の団体表彰のクラブを紹介させていただきます。

第 1 位、若葉スキークラブさん。(拍手)

取りあえず 10 位まで紹介させていただきます。

第 2 位がディップススキークラブさん。(拍手)

第 3 位が練馬区スキー協会さん。(拍手)

第 4 位が武蔵野市スキー連盟さん。(拍手)

第 5 位が MAXIMUM スキーチームさん。(拍手)

第 6 位がスラロームスキークラブさん。(拍手)

第 7 位が世田谷区スキー協会さん。(拍手)

第 8 位が品川区スキー連盟さん。(拍手)

第 9 位が八王子スキー連盟さん。(拍手)

第 10 位が新宿スキークラブさん。(拍手)

第 1 位の若葉スキークラブさん、前のほうにお願いします。

○岡田副会長

表 彰 状

団体総合成績第 1 位 若葉スキークラブ殿

貴クラブは、第 78 回東京都スキー連盟主催のクラブ対抗競技会において、頭書の成績を収めたので、その栄誉をたたえ、ここに表彰いたします。

2025 年 3 月 1 日

一般財団法人東京都スキー連盟会長 達下系一

代読。おめでとうございます。(拍手)

- 春見理事 それでは、第2位、ディップススキークラブさん。
- 岡田副会長 表彰状、団体総合成績第2位、ディップススキークラブ殿。
- 以下同文です。おめでとうございます。(拍手)
- 春見理事 第3位、練馬区スキー協会さん。
- 岡田副会長 表彰状、団体総合成績第3位、練馬区スキー協会殿。
- 以下同文です。おめでとうございます。(拍手)
- 春見理事 第4位、武蔵野市スキー連盟さん。
- 岡田副会長 表彰状、団体総合成績第4位、武蔵野市スキー連盟殿。
- 以下同文です。おめでとうございます。(拍手)
- 春見理事 第5位、MAXIMUM スキーチームさん。
- 岡田副会長 表彰状、団体総合成績第5位、MAXIMUM スキーチーム殿。
- 以下同文です。おめでとうございます。(拍手)
- 春見理事 第6位、スラロームスキークラブさん。
- 岡田副会長 表彰状、団体総合成績第6位、スラロームスキークラブ殿。
- 以下同文です。おめでとうございます。(拍手)
- 春見理事 第7位、世田谷区スキー協会さん。
- 岡田副会長 表彰状、団体総合成績第7位、世田谷区スキー協会殿。
- 以下同文です。おめでとうございます。(拍手)
- 春見理事 第8位、品川区スキー連盟さん。
- 岡田副会長 表彰状、団体総合成績第8位、品川区スキー連盟殿。
- 以下同文です。おめでとうございます。(拍手)
- 春見理事 第9位、八王子スキー連盟さん。
- 岡田副会長 表彰状、団体総合成績第9位、八王子スキー連盟殿。
- 以下同文です。おめでとうございます。(拍手)
- 春見理事 第10位、新宿スキークラブさん。
- 岡田副会長 表彰状、団体総合成績第10位、新宿スキークラブ殿。
- 以下同文です。おめでとうございます。(拍手)
- 春見理事 それでは、まとめて団体で表彰の集合写真を撮らせていただきます。よろしいですか。〔写真撮影〕
- 春見理事 どうもお疲れさまでした。ありがとうございます。
- 竹林総務本部長 おめでとうございます。

5. 議長及び副議長挨拶

○竹林総務本部長 続きまして、今会議の議長・副議長につきまして、加盟団体等に関する規則第14条に基づき、会長が欠席のため、議長は岡田副会長、副議長は本橋専務とさせていただきます。

では、岡田議長、御挨拶をお願いいたします。

○岡田議長 皆さん、お疲れさまです。

早速始めさせていただきたいと思っておりますけれども、議長を務めさせていただく副会長の岡田と申します。よろしくお願いいたします。不慣れな議長ということで、御迷惑等をおかけしないように進めたいと思っておりますけれども、スムーズな進行ができるようにやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○本橋副議長 副議長を拝命しました本橋専務理事です。よろしくお願いいたします。

○岡田議長 議題に入る前に2点ほど、冒頭でも達下会長が体調不良のため欠席という説明をさせていただいたのですが、その点について少し詳しく皆様にお伝えさせていただければと思います。

会長に関しましては、体調不良ということで、その状態を維持されたままというか我慢してといいますか、そういう状況の中で会長の職務に当たっていたのですけれども、やはりどうしても体調が優れないということで、6月30日付で辞任届が提出されました。あわせて、こちらのほうが時期としては早いのですが、5月24日に、理事であり競技本部長の山崎競技本部長からも一身上の都合ということで辞任届が提出されています。ただ、今現在、その2名を含めましても理事が10名という中で、2人が欠けてしまうと8名ということで新しい理事会が発足できませんので、規約の中にもありますように、今、実際には、会長、競技本部長、それぞれの権利を有するといったところで、補欠選挙が行われるまではこの理事会で継続して行っていくということになります。

皆様方には、いろいろな事業や行事、強化も含めて、御心配や御迷惑等をおかけすることがあるとは思いますが、今いる残されたメンバーでしっかり乗り越えていけるように、また、しっかり補充ができるように、皆様方のお力をお借りしながら、ぜひ立候補していただいて、来るシーズンに向けて、人

数的な部分でも行事全体がしっかり回るようにサポートいただければと思っておりますので、どうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

○本橋副議長 補足であります。ただいまこのような状況になりましたので、理事の補欠選挙について実施することになっております。現在、選挙管理委員会にお願いしまして手続を開始していただきました。今の流れからいきますと秋、9～10月ぐらいの選挙になるだろうということを選挙管理委員長が言われておりました。8月ぐらいから告示が始まり、皆様の立候補を受け付けるような形になると言われていましたので、お知らせいたします。

以上です。

6. 書記指名

○岡田議長 それでは、議題に入る前に書記の指名をさせていただきます。

総務本部専門員の浅野さんです。

7. 議事録署名人指名

○岡田議長 続きまして、議事録署名人を2名、指名させていただきます。

クラブ番号 234 番・新宿スキークラブの宮澤さんです。よろしくお願いいたします。

クラブ番号 412 番・羽村市スキー連盟の細谷さんです。よろしくお願いいたします。

議 題

(1) 2025 年度事業（雪上）の報告等について

○岡田議長 それでは、早速議題のほうに入っていきたいと思います。

「2025 年度事業（雪上）の報告等について」ということで、競技本部理事の春見理事のほうからよろしくお願いいたします。

○春見理事 それでは、競技本部の 2025 年度の事業（雪上を含む）の報告をさせていただきます。

今シーズンは、順調に降雪もあり、各大会に多くの方々に参加していただき、誠にありがとうございました。シーズン前のパフォーマンステストから翌年 4 月の南関東オールスターキャンプまで、全事業を開催することができたことを御礼申し上げます。

こうした中で、当連盟の選手の方々が好成績を収めました。特に国民スポーツ大会では、GS の成年女子で石渡実香選手が 6 位入賞、全中では、GS で小熊健祐選手が優勝、ほか 2 名の選手が入賞を果たしました。ジュニアオリンピックでも、小熊健祐選手がスラロームで優勝し、ほか 7 名の選手がそれぞれの競技で入賞という結果を出し、これらの内容を報告させていただきます。

これらの成績の実現は、選手を含め、専門員の方々、スキー場関係者も含め、各方面の方々の大変な努力の結果であり、この栄光をたたえたいと思っております。今後のますますの発展を期待するとともに、競技本部も可能な限り応援をしていきたいと考えておりますので、どうか皆さんの御協力をお願いしたいと思います。

以上で事業報告を終わらせていただきます。

○岡田議長 では、続きまして教育本部の報告をお願いいたします。

○金子教育本部長 こんにちは。教育本部の金子です。

日頃より本連盟の活動に御理解・御協力、ありがとうございます。また、各クラブから御推薦いただいた専門員の皆様にも、スムーズな行事運営に御協力くださり、感謝を申し上げます。また、来季に向けてですけれども、専門員の改選がありました。多くの専門員を推薦してくださり、感謝申し上げます。

今シーズンは、雪も十分にあり、ドキドキのないシーズンインとなりました。

12 月は昨年より定員を減らした形で研修会を行いました。理由としては、コース幅が狭い状況で大人数の研修会は危険であり、十分な研修ができないという観点からです。12 月中の研修会は、昨シーズン同様、本連盟所属のデモンストレーターが参加の皆様とともに滑りながら研修をする機会を設け、新教程への理解がより深まったと思っております。今シーズンの研修会ですけれども、少し人数が少なかったなという印象です。

また、指導資格をお持ちであるのになかなか指導の機会が持てないという方がいらっしゃる一方で、スキースクールではスキー教師が足りないという現実があります。ということで、スキー教師を募集しているスクールの紹介をホー

ムページでも掲載させていただきました。御活用いただければと思っております。

東京都スキー技術選手権大会・スノーボード技術選手権大会は高峰マウンテンパークで行いました。地元の皆様やスキー場の皆様とともに連携し、大会を盛り上げました。

デモンストレーター選考会では、ナショナルデモンストレーター3名、SAJデモンストレーター4名が認定されました。

準指検定会は、養成講習会やレベルアップ講習会などでしっかり技術を磨いていただいて、また種目の理解を深め、多くの方が合格となりました。

3月のジュニア技術選手権大会では、翌週に同じ会場で全日本の大会があるということもあり、多くの選手が集まって白熱した戦いが繰り広げられました。

温暖化による気候変動や物価高騰でスキー環境が整いにくいと感じているのですが、それでも、クラブ行事や都連行事に多くの方々が集まり活気ある連盟にできたかなと思っております。今シーズンも大きな事故なく終えられたことに感謝を申し上げます。

以上です。

○岡田議長 2025年度の事業の報告等については以上になります。

ここまでで何か御質問等がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

(2) 2025年度加盟団体からの提案・要望について

○岡田議長 それでは、特にないようですので、議題の(2)「2025年度加盟団体からの提案・要望について」も競技本部のほうから始めていきたいと思えます。

皆様、資料をお持ちかと思えますので、見ていただきながら進めていきたいと思えます。本橋副議長のほうからお願いします。

○本橋副議長 皆様、お手元に加盟団体様からの御質問と我々が回答したものがあると思えます。まずは団体ナンバー12番・八王子スキー連盟様からの御要望で、「都民大会におけるセカンドカットの廃止について」というものを頂きました。

内容について簡単に概要を説明しますと、選手によっては 2 本目が滑れなかったということがあります。せっかく 2 コース開いているのですから、同時にやればセカンドカットすることはないのではないかという御要望を頂きました。

これにつきましていろいろ検討はさせていただきましたが、まず、今は教育もそうなのですが、競技のほうも専門員の数があるものすごく足りない状況です。その中で、2 コース同時にそれぞれの役員を配置して実施するということが非常に困難な状況であります。恐らく「その辺は分かっているよ」と言われるかもしれませんが、そのような状況でございますので、同時に役員を配置することができないということと、「では、例えば菅平スキースクールから人を用意してもらったりすればいいではないか」ということもあるかもしれませんが、都民大会につきましては収支計算が少し違いまして、都民大会の収入は東京都スポーツ協会のほうに行きます。我々は、必要な支出をしまして、一部補助金という形で頂いております。現在、この補助金も、東京都スポーツ協会に掛合っているのですが、そこに書いてあるとおり、毎年 60 万円ぐらい赤字になっております。どうしても東京都スポーツ協会もそれ以上は出せない。この点については、これからも我々も東京都スポーツ協会に追求していこうとは思っております。以上のような状況でありますので、大変申し訳ございませんが、御要望にはなかなか応えることができないという状況でございます。

まず、この件につきまして、八王子スキー連盟様、どうでしょうか。

○八王子スキー連盟（小倉） 12 番・八王子スキー連盟の小倉でございます。よろしくお願いします。

今、専務理事のほうから、回答いただきましたけれども、まず都民大会についてですが、お金の件、それから役員が両方を同時進行すると大変だというのは、自分もやっておりましたのでよく分かっております。

ただ、都民大会については、各地域、市ですとか町ですとか区ですとか、そういうところで予選会をやられて、そこで選考された代表選手が出てきている大会ですので、できるだけ、セカンドカットをするのではなくて、エントリーした選手は 2 本滑らせてあげていただきたいという思いがまずあります。

それと、セカンドカットとオーバータイム失格ということがあると思いますけれども、オーバータイムについては設けて当然だと思うのですよ。それだけ時間がかかっているわけですから、頑張っても 2 本目でひっくり返すことはで

きないので。ただ、セカンドカットだと、本当にコンマ何秒という差で滑れる選手と滑れない選手が出てきます。そういうこともありますので、ぜひこの件については、単にお金がかかるから、人手がないからということで簡単に割り切るのではなくて、考えていただきたいと。

それと、もう一つは、クラブ対抗と併せて土日で行っている大会でございます。予算書等を見せていただきますと、クラブ対抗はかなり参加者が多くて黒字になっている状況です。都民大会についてはスポーツ協会からの補助金で行っている大会ですので、単体で考えるとこういう結果になると思いますけれども、クラブ対抗で行っている都連からの専門員はそのまま一泊して次の都民大会に回っているわけですので、そういう意味では、都民大会だけの1レースで収支を考えるべきではなくて、クラブ対抗とセットで、実際に両方合わせてどれだけの収入があって、出ていくのは幾らになるのかというような考え方で見てもらおうと、また少し違ったものが出てくるのではないかなと思います。

確かに、専門員が少ない中で、地元、菅平にコース係ですとか旗門員とかを頼むと、当然のことながら、その分余計な出費にはなるとは思いますけれども、前回の大会でも、都民大会の表彰式が全部終わるのが4時半ぐらいになって、帰る頃には暗くなりつつあるというような状況で、クラブ対抗は遅くなっても、みんな泊まりますので問題ないのですけれども、都民大会は、そこで終わって4時半から帰り支度をして帰京するような形になりますので、帰りのラッシュにもぶつかって東京に着くのは夜中になってしまうというような状況もありますので、ぜひこの件については何とか、赤字になっても2本同時進行にして早く終わらせることとセカンドカットを廃止するという方向で、ぜひとも、次回大会では無理でも、その次の大会、先の大会で考えていただければなと思います。よろしくお願いします。

○本橋副議長 御提案ありがとうございました。

続きまして、次ページに行かせていただきます。これにつきましても12番・八王子スキー連盟様からの御要望です。都民大会におけるスキー盗難がありましたということで、1本目を終了した後、2本目開始までに少し時間があつたのですけれども、その間にスキーの板がなくなってしまったということで、何か都連のほうで対策はできないか、再発防止できないかという御提案でございます。

とても残念なことで、同じスキー仲間が実際に盗ったということが事実かどうかは何とも言えないのですけれども、紛失してしまったということは非常に悲しいことです。各スキー場でも「取り違いはありませんか」という放送もよく入っておりますが、なかなか、我々執行部も個人の用具のところまでにつきましては、多分これも小倉様は「分かっているよ」と言われると思いますけれども、管理をすることはとても難しい状況でございます。アナウンス等、いろいろすることはできるかなとは思っておりますが、これにつきましては、やはり個人でしっかりマテリアルを管理していただくしかないのかなというところで、対策として非常に何かしたいと思うのですけれども、とても難しい状況なので、その辺を御考慮いただければと思います。

以上です。

○八王子スキー連盟（小倉） 御回答どうもありがとうございました。今、専務からも回答がありましたように、当然、自分のスキーは自己管理ということは重々承知しております。ただ、対策としては私どもも、「じゃあ、どうするんだ」といったら、特にこれといったものは考えられず、専務が言われたとおりの対策でよろしいかと思います。

1 つは、TCM の時点でも、「去年こういうことがありましたよ」ということをしっかりアナウンスしていただいて選手の注意喚起を高める。それと同時に、それが何かしようとする人の抑止力にもなると思います。TCM でこういったことを周知していただくことと、あとは会場でも随時、「昨年もこういう事例がありましたので、皆さん、自分のスキーをよく管理してください」ということをアナウンスしていただくことで、やはり防止策になると思いますので、よろしく願いしたいと思います。

それで、実はこれを書かせていただいたのはもうちょっと別の観点がありまして、そちらのほうが私としては問題だと思うのですけれども、詳しい話をしますと、板を盗まれた選手は、実は 1 本目の女子 1 部で 5 位の選手で、その選手が出られなかったために八王子スキー連盟は、この選手が無事に同じ 5 位で滑っていれば女子団体 3 位になったところが 5 位になってしまったというような経緯もございます。そんなことで、この件については十分な注意喚起をアナウンス等をお願いしたいということです。

それと、問題にするとはいいましたのは、この件を競技本部がどのように捉え

ているのかなということで、実は5月に都連の事務局のほうに行きまして、TD報告書と行事報告書を拝見させてくださいということをお願いしました。そうしましたところ、TD報告書が見当たらないという回答で、TD報告書は見ることはできませんでした。行事報告書のほうは春見理事をお願いしまして見せてもらったのですけれども、こういった盗難事故は当事者にとっても事業運営者にとっても結構大変なことだと思うのですけれども、競技本部の行事報告書には一言も触れられていませんでした。こういったことがあったということも書いていないのだから、当然対策も何も書かれていないという状況。

TD報告書が見当たらないというのはどういうことなのかと思ひまして、いろいろ確認したのですけれども、どうもTDから報告書が出されていないのではないかというのが私の推測でございます。多分教育のほうもそうだと思いますけれども、行事が終わったら必ず各現場の責任者、競技であればTDが現場の最高責任者ですから、TD報告という形で、どういう状況で行われたか、こういった事故に対しての特記事項は当然記載されてあるべきものだと思うのですけれども、それが見当たらないというのは、ちょっとガバナンスが利いていないのではないかなという思いがしまして、こういう質問を出させていただきました。

対策については、先ほど専務も申し上げられたとおりの形で次回大会から実施していただければ防止策になると思いますので、よろしく願いいたします。
○本橋副議長 どうもありがとうございました。我々も何かできる範囲で考えたいと思いますので、今回の御提案はとても参考になりました。ありがとうございました。

○金子教育本部長 では、続きまして教育本部に参りたいと思います。

団体番号49番・三鷹市スキー連盟様からの御要望です。研修会の参加費についてです。研修会の参加費が値上がっているが、研修会を運営するのには十分でないか。また、何に使われているのかということです。

研修会の参加費、クリニックの参加費ですけれども、それぞれ研修会の運営のためだけに使われているものではありません。都連全体の運営ですとか総務本部・競技本部に関わる経費にもなっておりますので、御理解をよろしくお願いいたします。

○三鷹市スキー連盟（辻口） 49番・三鷹市スキー連盟の辻口ですけれども、

御回答ありがとうございました。

私から申し上げたいのは、去年・おとしと指導員研修会の参加費が立て続けに上がりまして、有資格者のクラブ員から「何でこんなに上がるんだ」と結構な問合せを受けまして、「そうは言ったって、世の中、物価が上がっているんだから、ガソリン代も宿泊代も上がっているし、リフト券代だって上がっているんだから、それはしょうがないでしょう」という話はしたのですけれども、「それを考えても、どう考えても上げ幅が大き過ぎるんじゃないの？ 1 班 10 人とか 15 人いる中で 1,500 円も上げたら 2 万以上も上がりますよ。じゃあ、実際に上がっている 1 人の専門員に対して 2 万円以上も支出を増やしているんですか。増やしていないでしょう」と。そうすると、さすがにこれは上げ過ぎなのではないかということで、なかなか私のほうも会員に対して説明に窮しているという状態です。

多くのクラブが、恐らく競技をやっている会員の方、もしくは有資格者の方をたくさん抱えている中で、かなり高齢化が進んでいまして、特に教育本部管轄の有資格者を多く抱えているクラブさんからすると、平均年齢が 60 歳近いというクラブも、下手したら超えているクラブもあって、ほぼ年金生活の人がいっぱいいらっしゃるクラブも多分あると思うのです。その中で、物価が上がるものに対しては当然、参加費が上がっていくのはしょうがない、世の中的にはしょうがないと思うのですけれども、それ以上取るのはさすがに取り過ぎなのではないかと私個人的にも思っています。

昔、例えば準指導員の受験者が 1,000 人とかいた頃は、もちろんある程度、教育本部で得た利益を競技本部とかほかの本部に回すということもあったかと思うのですが、今は恐らく 200～300 人ぐらいで推移していると思いますので、正直言って、教育本部で得た利益をほかの本部に回すことは難しいのだと思います。なので、今ここに書いていただいたとおり、教育本部で出たお金は他の本部にも使われていますというのは、もちろんそうだと思うのです。というのは、もともと教育本部のこの事業は相当黒字だったはずで、黒字だったものをさらに値上げしているわけですから、もっと黒字になっているはずなのに、指導員研修会で何か改善されたり処遇が良くなったり、例えば 1 班が 5 人になったとかは聞いたことがない。となると、提供されるサービスが何も変わらないのに参加費だけ上げられても、なかなかクラブ員としては納得できないという

ことらしいのです。私もそう思います。

ですので、基本的には、これ以上は上げないでいただくというか、各本部がそれぞれで使った費用は各本部の中で完結していただくように御対応をお願いしたいと思います。もちろんきれいに全ての本部が完結できるとは思っていませんが、やはりそこを全部教育本部に押しつけられても、教育本部の行事に参加している有資格者からすると、多分納得感は出ないと思います。これがまさに、最後のほうにありますけれども、ミタカファーストさんがおっしゃっているように、クラブ員が減っていった参加者が減っていつてしまいますよねという話と全く同じで、それだけ有資格者の指導員研修会の参加費が上げられると、「じゃあ、この際だから、もう資格を返上して辞めちゃおうかな」という人も多分出てくると思います。こちらはかなり影響が大きいと思いますよ。というのは、言い方は悪いですが、こちらはドル箱の行事ですから、参加者が減ってしまうとほかの行事にもどんどん影響が出てくると思います。ですので、ここはなるべく値上げは抑制していただくように、各本部で完結していただくような方向性で御検討いただきたいと思います。

私のほうからは以上です。

○金子教育本部長 ありがとうございます。検討し続けてまいりたいと思います。

続きまして、団体番号 244 番・ジャパン・イーエム・スキークラブからの御提案となります。プライズテスト・級別テストの事前講習の受講資格や主任検定員の規定について変えてはどうかということなのですが、検定員規定などは全日本スキー連盟の規定によるものなので、本連盟で改定することはありません。

ジャパン・イーエム・スキークラブの方はおいででしょうか。

○ジャパン・イーエム・スキークラブ（篠田） ジャパン・イーエム・スキークラブです。

一言、この回答書に書かれています。これは当然なのです。ただ、こういうことについて都連としてどのように考えるのかということに対する問題提起でもあるのですが、規定なので、全日本の規定だから都連で変えることができないなんていうのは当たり前で、あまりにもお粗末な答えなのかなと思います。都連としてこの問題をちゃんと把握しているのかということも含めて、

これは全日本に個人的に持っていくことなのかどうかということも含めて、都連の見解を聞きたいなと思っているわけなのですけれども、いかがでしょうか。

○金子教育本部長 事前講習については受験者が受けるものと考えておりますけれども、いずれ今後の未来の受験者のためにも門戸を開ければよいかなとは思っています。

○ジャパン・イーエム・スキークラブ（篠田） すみません、趣旨が全然違うのではないのでしょうか。

これを読んでいただけると分かると思うのですが、事前講習を誰でも受けられる形になっているということは、クラウンを受けるのに、5 級の人だって、何も持っていなくたって受けられるということですよ、これは。今の規定だとそういう理解になってしまうのです。多分作った方たちは、クラウンを受けるときにはテクニカルは持っているだろうという予測で作られた規定でしかないと思うのですよ。

これは実際に私が経験したわけではないのですけれども、私の知り合いから聞いた話で、1 級を持っていてクラウンプライズの事前講習に出たいという方がいらっしゃって、規定の中でそれができないということがないので受けざるを得ない状況になってしまったと。ただ、テクニカルを持っていないのでクラウンは受けられないけれども、事前講習については受けられる。だから、受けられないという規定はないのですね。だから、それに対して、安全面も含めて、今の規定だと本当にスキーをやったことがない人だって事前講習を受けられるということになってしまうのです。そういったところに考えが及んでいないのではないかなということで、第 1 番目の問題についてきちんと、前の段階の資格というか技能を持っている人に限るような追記だとか運用だとか、そういった形にしないと本当に運営面でも問題があるし、安全面で非常に問題があると思って、この 1 番については提案しました。

2 番については、同じ A 級なのに、名誉検定員は、これも書いてあるとおりなのですけれども、何で名誉検定員は主任検定員になれないのかという素朴な疑問ですよ。同じクリニックを受けていて、なぜ名誉検定員だけが主任検定員になれないのか。ですから、規定が変わって 2 人になったことは非常によかったのですけれども、名誉検定員と C 級検定員だとバッジテストの開催ができない。うちなんかは非常に少ない資格者の中でやるのに、支障が出てバッジテ

ストができない状況になってしまっているのですけれども、名誉検定員になったばかりに、こういう状況が出てきてしまっているということに対して、都連として何か動いてくれないのかなということで出させてもらいました。

○金子教育本部長 認識が不足していて申し訳ありません。今の御説明ありがとうございます。

今すぐにお答えはできないのですけれども、もう少し整理をして、全日本にも少し質問を投げかけたいと思いました。ありがとうございました。

○ジャパン・イーエム・スキークラブ（篠田） それで結構です。よろしくお願いします。

○三鷹市スキー連盟（辻口） 49 番・三鷹市スキー連盟の辻口ですけれども、今の問題について私の理解だけ申し上げます。

私が申し上げることではないのですけれども、私の理解だけ申し上げますと、まず、クラウンの事前講習を 5 級の人を受けるかということなのですから、果たして 5 級の人 が 1 万円払って事前講習を受けるのかというのは、正直個人的には疑問で、別に 1 級を持っていてもクラウンの事前講習を受けたっていいじゃないかということは多分あると思うので、これがテクニカルを持っていないと事前講習を受けられないかどうかというのは、正直多分いろいろな人の意見があると思うのですよ。ただ、受験できないというのはそのとおりだと思うのですけれども、事前講習に関して言うと、そこは正直、SAJ がどう考えているかは分からないのですけれども、必ずテクニカルを持っていないと事前講習は駄目というふうに規制する必要があるのかというのは個人的にはよく分からないなと思うのと、それから、名誉検定員が主任検定員になれないというのは、恐らく、これは推測ですけれども、名誉検定員はクリニックの受講義務がないのですよ。つまり、クリニックの受講義務がないということは、最新の検定を知らないのですよ、極端なことを言うと。受講していない可能性がある。そういう人は、検定はできるけれども、主任検定員にはなれませんという可能性があって、もし仮にそういう前提で SAJ が考えているのだとしたら、それは私は合理的だと思いますね。

私のほうからは以上です。

○ジャパン・イーエム・スキークラブ（篠田） くどくなってしまうのですけれども、この「規定例」のところを見ていただけると、まず、名誉検定員につ

いては義務がない。義務がなくても、先ほど申し上げたとおり、クリニックを受講・修了しているのに受けられないというのはおかしいのではないかということを行っているわけです。

それから、バッジテストについては、5 級の人を受けるとは思えないということでは規定としては成り立たないのですよ。思えないというだけですから。受けることができるということも考えられるということで申し上げているわけで、これも先ほど申しましたが、その前の資格がないとやはり安全面・運営面で非常に支障を来すことがあるから、そういったところで規定をされたらどうかという提案なので、そのあたりで考えていただければよろしいかと思うのですけれども。

○岡田議長 ありがとうございます。一旦本部長のほうからも回答させていただいていますけれども、SAJ のほうに確認をさせていただいて、また御報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○金子教育本部長 ありがとうございます。

続きまして、団体番号 731 番・遊雪様の御要望です。主に大会中、リザルト等の周知に Facebook を用いていますけれども、ホームページを活用できないかという御要望です。

いろいろと今までも御不自由をおかけしましたが、近いうちにホームページをリニューアルする予定でいます。今まで Facebook で発信してきたものなどもホームページに掲載することが可能となりますので、御承知おきください。

遊雪の方はいらっしゃいますか。

○本橋副議長 今、教育本部長より、ホームページをリニューアルすることで話をしましたが、簡単ではありますが、その辺がどうなるかというのは総務の高柳理事のほうから説明させていただきます。

○高柳理事 理事の高柳でございます。

ホームページなのですが、皆さん今まで長くお使いになられてきたと思いますが、幾つかの理由で、この年度で改善をしていきたいと思えます。

1 つ目が、報道等で御承知だとは思いますが、今、非常にサイバー攻撃が多くなっております。十分にそれに耐え得る状態ではないということが分かりましたものですから、早速、今現在、開発会社さんと一緒にこれに対応してございます。

一方で、いずれにしても、ホームページを修正・改修する流れの中で、少しでも皆様方により良く使っていただくということで、こちらの御要望は以前から頂いておりましたものですから、このたび、この機能といいたしうか、皆さんに機動的に当日ないしは前日あるいは事後の行事の情報をホームページから得ていただくというやうなものに改定を今現在いたしてあります。ですから、次のシーズンからは、各行事の専門員あるいは本部長が、現地から、あるいは現場からアップロードした最新の情報を、Facebook ではなくホームページから御覧いただけるやうになると思っております。今現在、ベンダーと詳細を詰めているところですので、御報告とさせていただきます。

以上です。

○金子教育本部長 では、次に参りたいと思ひます。

団体番号 777 番・日本体育大学-Ski & Snowboard 様、お見えでしょうか。

御提案と御要望ですけれども、まず、準指導員検定会を他県で受験することが可能かどうかということです。

回答を申し上げますと、全日本スキー連盟では、指導者検定規程におきまして、「準指導員検定会を他の加盟団体に委託する加盟団体は、事前に委託先の加盟団体に、所属会員の受験の受け入れを依頼し」云々と記載されています。受けることは可能です。しかしながら、いろいろな手続を踏んでいただいて、そして受けていただきたいと思っております。

以上です。

引き続き、総務でお願いします。

○竹林総務本部長 では、同じ 777 番・日本体育大学-Ski & Snowboard 様から総務に対する御要望です。提出書面などを手書きではなく PC で作成してメールで提出したいという御要望でした。

まず、PC 作成につきましては、例えば今回のやうな場合でも、こういった提案・要望の様式はホームページのほうにファイルで載せてありますので、そちらを利用していただければ手書きではなく PC で作成できますので、そのやうにお願いいたします。

あと、メールでというお話なのですが、今の世の中、確かにメールだと便利なのですが、何分にも事務局のほうの人数が 4 名ということで、4 名のうち 1 名は会計担当です。そのような少人数で全ての会員様向けの事務を行っております。

ますので、メールを一斉に受け取るとほかの業務に支障を来す可能性があります。しばらくはまだメールでの提出は御遠慮いただきたい。開封していなかったとか、そういったミスも起こりやすいと思いますので、今後も郵送または持参でお願いいたします。

——いらしていなかったですね。このような回答になります。

続きまして、団体ナンバー15番・三田ディモンズクラブ様。こちら、こういった会議等はオンラインを利用してやったらどうかという、そのほうが経費的にもいいのではないかということなのですが、会議の性質によるかと思います。例えば今回のような団体長会議は、皆様にここに来ていただきまして、今このように直接質疑応答させていただいております。これを Zoom とかそういったものでやることも技術的には可能かとは思いますが、何分にも 400 ある加盟団体全てとここでライブでつないでというのは、申し訳ございませんが、今のところ私どもとしては考えておりません。その代わりに、事務連絡担当者説明会のほうは、いわゆる連絡するための集まりですので、こちらは画像にして後日配信ということは可能だと考えておりますので、こちらにつきましては今後検討させていただきたいと思っております。

三田ディモンズクラブ様、いらしていますでしょうか。——いらしていないようですね。

では、次に進めさせていただきます。

414 番・クラシックスキークラブ様からの御要望です。総務からの各種通知文書の原則郵送の中止、あるいは希望する団体のみという御提案を頂きました。

郵送は希望団体のみというのは、事務局のほうとも話をしてみまして、不可能ではない、可能であると考えております。経費節減のためにも実現できればと思っております。ただ、ホームページのみというのは、スピード面や費用面でかなり利点はあるのですが、担当者が御覧いただかないと通じない、伝わらないという危険性がありますので、ホームページだけというのは考えておりません。

当連盟ではブラストメールというものがございます。ここに来ていただいている方はかなりの方がやっただいていただいていると期待をしているのですが、こちらは一般会員の方でもできますので、登録していただければ、ホームページが更新された際には自動的にメールで「ホームページが更新されました。新しい

情報が出ました」ということが配信されますので、ちょうど今ホームページでというお話が出ましたので、ぜひこちらのブラストメールを御利用ください。

「東京都スキー連盟 ブラストメール」ということで検索していただければ登録方法等が出てまいりますので、ぜひ御利用をよろしくお願いいたします。

クラシックスキークラブ様、いらっしゃいますでしょうか。

○クラシックスキークラブ（深見） ありがとうございます。

最初に御連絡いただくのは、私のほうにメールを頂きます。大体それで添付資料というのが分かって、必要なものはプリントアウトします。その後にホームページにもアップされます。その次に3段階目で郵送の文書が届く。そうしますと、一発目のメールで分かりますので、なおかつホームページで確認するというので、3回目に来る文書の郵送は本当に必要なのかという感じがしております。とにかく事務局のほうは配送作業をされるのであれば大変な仕事量になると思いますので、それから費用も含めて、ぜひ積極的に、希望者だけということで希望の団体だけにさせていただいたほうがよろしいのではないかと思います。よろしくお願いいたします。

○竹林総務本部長 1つ質問させていただいてよろしいでしょうか。メールで一番最初に届くというのは、事務局ではメールは発信していないはずなのですが。

○クラシックスキークラブ（深見） いや、都連からメールが届きますよ。さっきのブラストメールかもしれません。

○竹林総務本部長 大変失礼いたしました。ブラストメールですね。分かりました。安心しました。

積極的に、希望者のみということは考えていきたいと思います。貴重な御意見をありがとうございました。

○アルピナグループ（湯沢） そのことでよろしいでしょうか。アルピナスキークラブの湯沢と申します。

お願いなのですが、今回の団体長会議の通知が事務担のところに来たのですよね。その前の選挙の通知は直接来たのですよ。団体長会議だから当人に来るのが当たり前ではないかなと思うのですが、どうなのでしょう。

○竹林総務本部長 その点について、ほかからも、団体長に直接送ってほしいという御意見が出ました。実は、選挙のとき、20団体近く、もしくはそれ以上

の団体から、届け先不明ということで郵便物が事務局のほうに返ってまいりました。事務担当者宛てにつきましては 100%届いております。つまり、団体長が変更になった場合の届出を出していないクラブが多数あるということで、団体長宛てに送りますと届かない書類が出たということで、今回は 100%届くということで事務担当者様に送らせていただきました。

この件につきましては、私どものほうでも、次の事務担当者会議が 8 月にありますので、団体長の氏名・住所が変わった場合には届出を出してくださいということを 8 月の事務担当者会議でお願いする予定になっております。ですので、申し訳ございません、今回に限りましては、宛先不明が前回多かったということで事務担当者にさせていただきましたが、不明のところを修正した後は、選挙と団体長会議は団体長にお送りするということが可能になるかと思えます。よろしいでしょうか。

○アルピナグループ（湯沢） 分かりました。

○竹林総務本部長 では、次に移らせていただきます。

463 番・東京ミタカファーストスキークラブ様から、加盟団体存続の危機ということで、これは毎年出てくるテーマなのですが、ミタカさんのほうは人数を減らしてくれという御要望ではなく、15 名以下となった場合でも、15 名分の会員登録料（800 円×15 名＝1 万 2,000 円）をクラブで負担すればそのまま加盟団体として登録できるようにしてほしいという要望と、会員の利点についてということなのですが、確かに 2022 年の臨時評議員会にて、会員数を 20 名から 15 名へと改定しました。それでも先ほど申し上げましたように、15 名ではクラブ存続が苦しいという意見が毎年出ます。ですので、これを 13 名にする、10 名にするといっても、恐らく永遠に同じようなことが予想されます。今回の 15 名の会費を納めたらよいという方法は、それで問題点がないのかどうか、今後こちらのほうで内容を精査させていただきたいと思えます。今すぐそれでオーケーという答えは出ませんが、今後あり得る問題点等を考えたいと思っております。

あとは、もし 15 名より減ってしまったというクラブがあった場合には、それぞれの地域のスキー連盟というものがございいますので、そこに登録いただき、幾つかの小さなクラブの集合体のような形になっておりますので、クラブの名前や団体自体はそのまま存続して、都連との間にもう一つ地域の連盟が挟まる

という形で、都連への登録はそちらの地域のスキー連盟さんにさせていただくというやり方でクラブを存続させるという方法も一つの方法としてありますので、ここで御紹介させていただきます。

そして最後の、会員の利点なのですが、確かにそうなのです。こちらに関しましては、関係各所いろいろなところと協議を続けております。今現在も続けておりますが、御協力いただけている企業の経営方針とか、いろいろ課題もございいますので、これからも引き続き何ができるのか、私どもと提携先協力企業と協議し続けていきたいと思ひます。

東京ミタカファーストスキークラブ様、来ていただいていますでしょうか。

○東京ミタカファーストスキークラブ（本間） 東京ミタカの本間といいます。

都連会員の 800 円は、はっきり言って、現状、会員証もなくなりましたということで、メリットは何もないということで、「じゃあ、会員じゃなくていいや。スキーは続けるよ」という人間がかなりいるのですよ、はっきり言うと。そういう中で、ではメリットをどうするかという。

前はスキー場のリフト券が少し安くなりました。そういうことをこれからできないかということも含め、あとは、例えば用具購入。神田にいっぱいショップがあります。そういうところで都連の会員が用具を購入したときに、例えば「会員証提示で店頭表示価格より 5%安くします」とか、そういうメリットは何か考えられないかということ、提案ではないですけれども、そういうことも含めてメリットをもう少し大きく出していいただければと考えています。よろしくお願ひします。

○竹林総務本部長 ありがとうございます。会員証のことにつきましては、まだ廃止にはなっておりません。先ほどと一緒に、要らないというクラブ様もいらっしゃると思いますので、必要がないというクラブには去年からお送りしていません。ただ、必要だというクラブには今年もお送りする予定になっております。

あと、用具の件、リフト券の件、今後も企業の方と交渉を続けてまいりますので、申し訳ございません。

○東京ミタカファーストスキークラブ（本間） 会員証ですけれども、メリットがあればみんな欲しいと思うのですよ。今はメリットがないから、「じゃあ、不要だね」というところもたくさんあると思ひますので、そこも含めて、よろしくお願ひします。

○竹林総務本部長　ありがとうございます。

○岡田議長　競技本部、教育本部、総務本部、それぞれの提案・要望書についての回答は以上になりますけれども、全体を通して何か御質問等がある方はいらっしゃいますでしょうか。

○アルピナグループ（湯沢）　アルピナスキークラブの湯沢と申します。

お願いなのですが、今日の発表をするときに、例えばクラブ対抗競技会の団体表彰で、ただ名前を読み上げただけで、我々は1回聞いただけなのです。だから、この1枚の紙でもまだ余白がありますから、1位から10位までをここにプリントしたらいいのではないかなと思うのです。そうすれば、一生懸命やった人はそれが励みになると思うのです。もう雪がなくなってから何か月もたつので、そのぐらいの準備はできるのではないかなと思っているのですが。

それと、もう一つは、事業報告もただここで発表されるだけなのです。我々は聞いて「なるほど、そういうことをやっているのか」と思うのですが、一般の会員は全然分からない。我々が帰ってまたそれを説明することもできないのです。我々のクラブでさえ、会計の決算報告、予算、それから事業報告、予定、それを必ず総会でやっているのです。そのぐらいのことが発表できないかなと思っているのですけれども、どうでしょうか。

○竹林総務本部長　総務本部のほうからお答えさせていただきます。

まず、団体表彰リストにつきましては、来年度より次第とともにお配りするように用意することは可能です。

あと、本日の内容につきましては、議事録が作成されます。今日も速記の方に来ていただきまして、皆様の発言をかなりの精度で記録された議事録が作成されます。それは事務局に置いてあります。あとはホームページでも公表する予定ですので、皆様に御覧いただけます。よろしいでしょうか。

○岡田議長　ほかに何か御意見等はございますでしょうか。

○竹林総務本部長　先ほど議事録の話をしたのですが、速記の会社さんに入っていると思いますので、1週間やそこらで出来上がるものではありませんので、1か月ほどかかり、議事録署名人の方に確認をしていただき、それからの発表になりますので、2か月ほどかかってしまうかもしれません。そのことだけ御承知おきください。

○岡田議長 特に御質問等がないようでしたら、これで加盟団体長会議を終了したいと思います。よろしいでしょうか。(拍手)

閉会の辞

○本橋専務理事 専務理事の本橋です。

本日は皆様、お忙しい中、しかも暑い中、中野までお越しいただきまして本当にありがとうございました。

加盟団体長会議というのは、皆さんから直接生の声が聞けるというのが一番のメリットだと思います。逆に、皆様においても我々の声が聞こえるのかなと思いますので、引き続き、これについては対面でこのようにやらせていただくとともに、今はIT技術が進んでいますから、都連もそれに対応した、いろいろな発信を手軽にできるような、そして皆様も手軽に見られるような形を取っていければと、これからいろいろ改革をしていきたいと思っていますので、引き続きよろしくお願いします。

本日はどうもありがとうございました。(拍手)

閉会宣言

○竹林総務本部長 ありがとうございました。

お忘れ物ございませんように、あと、先ほど申し上げましたごみの持ち帰り、よろしくお願いいたします。

議事録署名人をお願いした方2名、ありがとうございます。こちらのほうにお残りいただけますでしょうか。

お疲れさまでした。まだまだ暑い時間帯でございます。お帰りはお気をつけてください。ありがとうございました。

午後1時49分 閉会

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長、副議長及び議事録署名人は下記に署名、押印する。

2025（令和7）年 月 日

一般財団法人東京都スキー連盟

議 長

岡田利修 

副 議 長

本橋 勇 

議事録署名人

細谷文雄 

議事録署名人

宮澤久男 



〒102-0093

東京都千代田区平河町 1-4-15

平河町小池ビル

一般財団法人 東京都スキー連盟

Tel. 03-3262-2491

Fax. 03-3264-6540

